

海軍公報

(部内限) 第三千九十九號

海軍大臣官房

昭和十四年四月二十二日(主)

○令 達

官房第一七五四號ノ二

昭和十四年度歳出科目中左ノ通追加ス

昭和十四年四月一日

海軍大臣

特別會計

款 項 目 節 解 疏

海軍燃料廠(事業費)(受託研究費)

外國旅費

モル

會計科目
電信略號

官房第二一四七號

根 拠

海軍工員規則第九十九條ノ規定ニ依リ昭和十年四月二十二日ヨリ同十一年四月二十一日迄ノ間ニ見習工員ヲ成業セル工員ニ對シ誓約賞與ヲ支給スベシ
其ノ給額標準ヲ左ノ通定ム

各廳長ハ必要ニ應ジ適宜減額支給スルコトヲ得

昭和十四年四月二十二日

海軍大臣

誓約期間滿了ニ依リ昇級シタル時ノ賃錢二十九日分但シ誓約期間滿了ノ際海陸軍ニ在營ノ者ニ對シテハ再備時ノ賃錢ニ依リ之ヲ支給ス

官房第二一四八號

根 拠

昭和十四年官房第四九一號告達ニ依リ昭和十四年四月採用ノ工作科豫備補習生ニ限リ左記ニ依リ賃錢ヲ補給スルコトヲ得

昭和十四年四月二十二日

海軍大臣

一、賃錢

- (イ) 補給額 月額金參圓五拾錢但シ支給スベキ事由ノ期間一月ニ滿ザル時ハ日割計算法ニ依リ支給ス
- (ロ) 支給期間 工作科豫備補習生ニ採用ノ爲退應ノ

<p>翌日ヨリ同教程ヲ終了シ又ハ同補習生ヲ免ゼラレ復歸ノ前日迄</p> <p>(ハ) 支給應 在籍應</p> <p>二、工事費整理</p> <p>賃錢ハ附屬費支辨トシ海軍工作廳工事費整理規則別表第一號整理符號八〇ヲ以テ整理スルモノトス</p>	<p>○通牒</p> <p>航本第二四一七號</p> <p>海軍航空本部航空事故研究調查會規程中左ノ通改正ス</p> <p>昭和十四年四月二十一日</p> <p>海軍航空本部長</p>	<p>第三條中教育部委員ヲ左ノ如ク改ム</p> <p>「首席部員 部員四名」ヲ「首席部員 部員五名」ニ改ム</p> <p>(參照) 海軍航空普法規類集一五二頁</p>	<p>○辭令</p> <p>海軍省事務囑託 津田 靜枝</p>
<p>自今報酬ヲ給セズ(海軍省)</p> <p>海軍省事務囑託 杉坂 悌二郎</p> <p>自今報酬年額千五百六拾圓ヲ給ス(海軍省)</p> <p>海軍大佐 中野 勝次</p> <p>海軍生徒採用試驗常置委員ヲ命ス</p> <p>同 木山 辰雄</p> <p>財團法人海仁會設立委員會委員ヲ命ス(以上海軍省)</p>	<p>○雜款</p> <p>○旗艦變更</p> <p>第三戰隊司令官ハ四月二十日旗艦ヲ金剛ヨリ霧島ニ變更セリ</p>	<p>○司令驅逐艦變更</p> <p>第二十七驅逐隊司令ハ四月七日司令驅逐艦ヲ夕暮ヨリ有明ニ變更セリ</p> <p>○郵便物發送先</p> <p>驅逐艦沖風宛</p> <p>四月二十四日迄ニ到達見込ノモノハ</p> <p>志 布 志</p> <p>宿 毛</p> <p>共ノ後ハ</p>	

○艦船所在

指[▲]定[▲]シ[▲]要[▲]セ[▲]ズ

○四月二十二日午前十時調

【横須賀】

春日▲、高雄▲、神威▲、鈴谷▲、五十鈴▲、陸奥▲、
嚴島▲、多摩▲、利根▲、▽八雲▲、▽沖島▲、橋駒▲、
木曾▲、長鯨▲、山城▲

島風▲、灘風▲、▽曉▲、狭霧▲、漣▲、▽夏雲▲、
峯雲▲、朝雲▲、山雲▲、沙風▲、▽電▲、雷▲

伊六▲
富士▲、膠州▲、洲崎▲、鳴戸▲

【長浦】

沼風▲、帆風▲、響▲
(飛龍)▲、(高崎)▲
呂五四、呂五五、呂五六、▽呂五八、
呂五七、伊一二三、伊一二四

【石川島】

野風▲
(掃一二)▲
北上▲

【浦賀】

澤風▲
(霞)▲、(不知火)▲、(早潮)▲、(掃一一)▲

【大湊】

夕張▲
葵▲、▽秋風▲、羽風▲、太刀風▲、夕風▲

【函館】

吳竹▲、▽菊花▲
大泊

【小樽】

矢矧▲、淀▲、淺間▲、比叡▲、古鷹▲、神通▲、
日向▲、鳳翔▲、最上▲、加古▲

【吳】

夕顔▲、若竹▲、早苗▲、薄▲、藤▲、葛▲、萩▲

▽芙蓉▲、劉登▲、朝顔▲、蔽

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲、
呂二八▲、伊五一、伊六六▲、伊六七▲、
伊七〇▲、▽伊六二、伊六四、伊六一▲、
伊一二三▲、伊三

雁▲
室戸

伊一五)▲、(伊一六)▲

【大阪】

天龍▲
卯月▲
(伏見)▲、(黒潮)▲、(夏潮)▲

【神戸】

呂五九▲、伊六八▲、▽伊五七、伊五六▲、
伊五八▲
(初風)▲、(伊二二)▲、(伊二〇)▲

【相生】

神風▲、波風▲
早鞆▲

【玉】

呂六二▲

【因ノ島】

▽旗風▲、春風▲、皐月▲

【江田内】

平戸▲
豊後水道)▽白鷹

【豊後水道】

矢風▲
伊一二一

【佐伯】

大井▲
伊一、伊二

【舞鶴】

攝津
吾妻▲、愛宕▲、迅鯨▲

海軍公報(部内限)第三千百九十號

昭和十四年四月二十二日

四四九

【佐世保】

敷波▲、磯波▲、白雲
伊五二▲
(陽炎)▲、(親潮)▲
那智▲、常磐▲、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登呂、
足柄、龍田、千歳▲、榛名▲、磐手▲、八重山、
赤城

梨、竹、榎、桃、柳、楡、葦、蓬、菱▲

大朝▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、彌生、如月、
夕月、三日月、菊月、陸月▲、望月、
追風▲、疾風

呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲

呂六一▲、呂六四▲、呂六六▲、呂六七、
呂六五▲、呂六三▲、呂五八、伊六九▲、
伊六五

眞鶴、千鳥、友鶴▲、初雁▲
掃一〇、掃九

敷島▲、鶴見、佐多、知床
(明石)▲、(雪風)▲、(伊一八)▲

【長崎】

羽黒▲
(筑摩)▲

【古江】

峯風

【有明灣】

長門、伊勢、扶桑、霧島、金剛、阿武隈、
由良、鬼怒、川内、大鯨、千代田、
鳥海、摩耶、熊野、三隈、那珂、劍埼、
蒼龍、龍驤
村雨、夕立、春雨、五月雨、若葉、子日、

【鎮海】

浦波、綾波
隱戸、間宮
初春、初霜、江風、涼風、山風、海風、
臘、曙、潮、天霧、朝霧、夕霧、初雪、
白雪、吹雪、東雲、薄雲、叢雲、沖風、
伊五、伊四、伊五五、伊五三、伊五四、
伊五九、伊六〇、伊七、伊七五、伊七四、
伊七三、伊七二、伊七二、伊七三、
呂三三、伊八

【作業地】

浦波、綾波

出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、
保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、
名取、長良、嵯峨、勝力

栗、梅、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、
夕暮、有明、時雨、白露
伊六三

隼、鶴、鴻、鳩、雄、鷲
掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、
掃一六、掃二三、掃一四、掃一五、
掃一七、掃一八、掃七、掃八

朝日、野島

【航海中】

襟裳 (三月二十日吳發—羅府—)

石廊 (六日「ホノルル」發—吳—)

尻矢 (十三日「ヒロ」發—橫須賀—)

海軍公報

(部内限) 第三千九十一號

昭和十四年四月二十四日(月)

海軍大臣官房

○雜款

○特設運送船金龍丸行動豫定

地名	着	發
神戶	四月二十日	四月十九日
名古屋	四月二十一日	二十日
横須賀	四月二十五日	二十四日
神戶	四月二十四日	二十六日
吳	四月二十九日	二十九日
佐世保	四月三十日	五月三日

○正誤

⑤

三月二十七日通牒欄中航空發動機用点火栓充當表中
式六百五十馬力發動機一型ノ代用点火栓ノ欄「K L G
V 2」ハ「K L G V 7」ノ誤

海軍公報(部内限) 第三千九十一號 昭和十四年四月二十四日

四五二

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セズ

○四月二十四日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威、鈴谷、五十鈴、陸奥、
巖島、多摩、利根、八雲、沖島、駒橋、
木曾、山城
島風▲灘風▲戸曉、狭霧、漣▲戸夏雲、
峯雲、朝雲▲山雲▲汐風、戸電▲雷▲
伊六▲
富士▲膠州、洲埼▲鳴戸

【長浦】

戸沼風、帆風、響
呂五四、呂五五、呂五六、戸呂五八、
呂五七、伊一二三、伊一二四

【石川島】

野風▲
(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲
(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一一)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

夕張▲
葵▲戸秋風、羽風、太刀風、夕風

【函館】

吳竹▲戸菊▲

【小樽】

大泊▲
矢矧、淀、淺間、比叡▲古鷹▲神通▲
日向、鳳翔、最上、加古
夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、

戸芙蓉▲刈萱▲朝顔▲霞

呂五一、呂五三、呂二六▲、呂二七▲
呂二八▲、伊五一、伊六六▲、伊六七▲
伊七〇▲、戸伊六二、伊六四、伊六一▲
戸伊一二一、伊一二二▲、伊二、伊三

室戸▲
(伊一五)▲(伊一六)▲

【大阪】

天龍▲
卯月▲

【神戸】

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲
呂五九、伊六八▲、戸伊五七、伊五六▲
伊五八▲
(初風)▲(伊二二)▲(伊二〇)▲

【相生】

神風▲波風▲
早鞆▲

【玉】

呂六二▲
因ノ島▲戸旗風▲春風▲卓月▲

【江田内】

平戸▲
豊後水道>白鷹

【佐伯】

矢風▲
大井▲

【細島】

龍驤、薄雲
攝津▲

【舞鶴】

吾妻▲愛宕▲迅鯨▲
敷波▲磯波▲白雲▲

海軍公報(部内限) 第三千九百九十一號

昭和十四年四月二十四日

四五三

【佐世保】

伊五二 ▲
 (陽炎) ▲ (親潮) ▲
 那智 ▲ 常磐 ▲ 青葉 ▲ 衣笠 ▲ 加賀 ▲ 能登 ▲ 呂
 足柄 ▲ 龍田 ▲ 千歲 ▲ 榛名 ▲ 磐手 ▲ 八重山 ▲
 梨 ▲ 竹 ▲ 榎 ▲ 桃 ▲ 柳 ▲ 檜 ▲ 董 ▲ 蓼 ▲ 蓬 ▲ 菱 ▲
 葦 ▲ 柿 ▲ 楡 ▲ 水無月 ▲ 文月 ▲ 長月 ▲
 大湖 ▲ 朝潮 ▲ 滿潮 ▲ 荒潮 ▲ 彌生 ▲ 如月 ▲
 夕月 ▲ 三月月 ▲ 菊月 ▲ 陸月 ▲ 望月 ▲
 呂三〇 ▲ 呂三一 ▲ 呂三二 ▲ 呂六〇 ▲
 呂六一 ▲ 呂六四 ▲ 呂六六 ▲ 呂六七 ▲
 呂六五 ▲ 呂六三 ▲ 呂六八 ▲ 伊六九 ▲
 伊六五

【長崎】

真鶴 ▲ 千鳥 ▲ 友鶴 ▲ 初雁 ▲
 掃一〇 ▲ 掃八 ▲ 掃九 ▲
 敷島 ▲ 鶴見 ▲ 佐多 ▲ 知床 ▲
 (明石) ▲ (雪風) ▲ (伊一八) ▲
 羽黒 ▲
 (鏡摩) ▲

【古江】

峯風

有明灣 ▲ 長門 ▲ 伊勢 ▲ 扶桑 ▲ 霧島 ▲ 金剛 ▲ 阿武隈 ▲
 山良 ▲ 鬼怒 ▲ 川内 ▲ 大鯨 ▲ 千代田 ▲
 鳥海 ▲ 摩耶 ▲ 熊野 ▲ 三隈 ▲ 那珂 ▲ 劍埼 ▲
 蒼龍 ▲
 村雨 ▲ 夕立 ▲ 春雨 ▲ 五月雨 ▲ 若葉 ▲ 子日 ▲
 初春 ▲ 初霜 ▲ 江風 ▲ 涼風 ▲ 山風 ▲ 海風 ▲
 隴 ▲ 曙 ▲ 潮 ▲ 天鏡 ▲ 朝霧 ▲ 夕霧 ▲ 初雪 ▲

白雲 ▲ 吹雪 ▲ 東雲 ▲ 叢雲 ▲ 沖風 ▲
 伊五 ▲ 伊四 ▲ 伊五五 ▲ 伊五三 ▲ 伊五四 ▲
 伊五九 ▲ 伊六〇 ▲ 伊七 ▲ 伊七五 ▲ 伊七四 ▲
 伊七三 ▲ 伊七一 ▲ 伊七二 ▲ 伊三四 ▲
 呂三三 ▲ 伊八 ▲
 隱戸 ▲ 間宮 ▲

【鎮海】

浦波 ▲ 綾波

浦波 ▲ 綾波 ▲
 出雲 ▲ 安宅 ▲ 鳥羽 ▲ 勢多 ▲ 堅田 ▲ 比良 ▲
 保津 ▲ 熱海 ▲ 二見 ▲ 瑞穂 ▲ 球磨 ▲ 妙高 ▲
 名取 ▲ 長良 ▲ 嵯峨 ▲ 勝力 ▲
 栗 ▲ 榎 ▲ 夕風 ▲ 朝風 ▲ 松風 ▲ 朝風 ▲
 有明 ▲ 夕暮 ▲ 時雨 ▲ 白露 ▲
 伊六三 ▲
 隼 ▲ 鶴 ▲ 鴻 ▲ 鳩 ▲ 雉 ▲ 鷲 ▲
 掃五 ▲ 掃一 ▲ 掃二 ▲ 掃三 ▲ 掃四 ▲ 掃六 ▲
 掃一六 ▲ 掃一三 ▲ 掃一四 ▲ 掃一五 ▲
 掃一七 ▲ 掃一八 ▲ 掃七 ▲
 朝日 ▲ 野島 ▲

【航海中】

石廊 (六日「ホノルル」發一吳へ)
 尻矢 (十三日「ヒロ」發一横須賀へ)
 襟裳 (二十二日「羅府發」一「ホノルル」へ)
 長鯨 (二十三日「横須賀發」一宿毛へ)
 赤城 (追風、疾風) (二十三日佐世保發一有明へ)
 伊一 (二十四日佐伯發一吳へ)

海軍公報

(部内限) 第三千九百九十二號

昭和十四年四月二十六日(水)

海軍大臣官房

○令達

附屬トシテ取扱フモノトス

官房機密第一二號ノ一五

昭和十四年四月二十六日

海軍大臣

各鎮守府司令長官
舞鶴要港部司令官
兵器簿ノ件通達

各艦船部隊學校兵器簿砲術長主管之部中左記ノ通改正
ス

區分	類	別	品	名	數稱	摘	要
改正	各種砲身	附屬具	接	柄	組	數稱個トアルヲ 組ニ改ム	
同	五十口径三年式 十四種砲(單裝)		照準孔	覆	個	雜記欄ニ「帆布製トアルヲ」創除	
削除	各種測距儀		說明書	冊	數量	創除	
備考	測距儀說明書ハ自今兵器トセズ當該測距儀ノ						

○辭令

中央氣象臺技師 平野 烈介
支那方面艦隊司令部ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ
金百五十拾圓ヲ贈與ス

支那方面艦隊司令部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク
海軍省)

海軍省事務囑託兼第三艦隊幕僚事務囑託
信夫 淳平

兼第三艦隊幕僚事務囑託ヲ解ク
自今報酬ヲ給セズ(二十六日同)

○雜款

司令潜水艦變更
第十二潜水隊司令ハ四月十八日司令潜水艦ヲ伊號第六
十八潜水艦ヨリ伊號第六十九潜水艦ニ變更セリ

海軍公報(部内限) 第三千九百九十二號 昭和十四年四月二十六日

○司令潜水艦一時變更
第六潜水隊司令ハ四月二十一日司令潜水艦ヲ一時呂號第五十八潜水艦ヨリ呂號第五十七潜水艦ニ變更、同日復歸セリ

○郵便物發送先
第二航空戰隊司令部、軍艦蒼龍、第十二驅逐隊宛

自今 宿 毛
其ノ後ハ 各所屬軍港

軍艦千代田宛

五月 一 日迄ニ到達見込ノモノハ 佐 伯
其ノ後ハ 聯合艦隊司令部ニ同シ

驅逐艦沖風宛

四月二十七日迄ニ到達見込ノモノハ 志 布 志
其ノ後ハ 宿 毛

○郵便物發送先
驅逐艦如月宛

四月三十 日以後到達見込ノモノハ
大阪市住吉區柴谷町

株式會社藤永田造船所内宛
追テ第三十驅逐隊司令宛ノ書類ニシテ同艦ニ關係アルモノハ寫ヲ直接同艦宛發送相成度

伊號第五十二潜水艦宛

五月 一 日迄ニ到達見込ノモノハ 大 湊
其ノ後ハ 東 郷 鶴

○郵便物發送先變更
驅逐艦峯風宛

自今 聯合艦隊司令部ニ同シ

○書類發送先ニ關スル件

水雷艇雄、鳩ハ目下單艇トシテ行動中ナル處兩艇宛書類ヲ第十一水雷隊トシテ送付ノ向多數有之事務處理上支障不尠自今各艇別ニ旅順郵便局氣付トシテ送付相成度

追テ第十一水雷隊殘務ハ驅逐艦萩(吳)ニテ處理致居候
(水 雷 艇 雄)

○殘務整理

吳鎮守府第三特別陸戰隊殘務整理ハ五月一日ヨリ吳海兵團内ニ於テ之ヲ行フ

○練習生採用試験問題發送

一、第九十期、第九十一期高等科砲術、第六期高等科測的術練習生採用試験問題本月二十日左記ノ通發送濟、未着又ハ別ニ必要ノ向ハ本校若ハ最寄海軍人事部、各要港部へ請求相成度(試験期日五月三十日)

番號	出發地	月	日	時	刻	到着地	月	日	時	刻	交通艦	記	事
一	徳山	四	二八	〇九〇〇	〇	宿毛	四	二八	一七〇〇	〇	千代田	委員(附)及視察見學者用	
二	宿毛	四	二八	〇九四五	〇	徳山	四	二八	一五三〇	〇	$\frac{d \times 1}{1 S d}$	侍從武官用	
三	宿毛	四	二九	一一〇〇	〇	徳山	四	二九	一八〇〇	〇	$\frac{d \times 1}{2 S d}$	大臣及委員(附)視察見學者用	
四	徳山	五	一四	〇九〇〇	〇	宿毛	五	一四	一六〇〇	〇	$\frac{d \times 1}{1 S d}$	右	
五	宿毛	五	一一	追テ定ム	〇	徳山	五	一一	—	〇	$\frac{d \times 1}{2 S d}$	侍從武官及委員(附)視察見學者用	

一、聯合試験ニ必要部數ハ各海軍人事部及各要港部
 二、聯合試験不可能ト認ムル向ハ直接

〇自四月二十八日宿毛在泊中交通艦派出豫定
 〇至五月十一日宿毛在泊中交通艦派出豫定

三、行動豫定變更等ノ爲所要ノ分トシテ若干部數各海軍人事部宛送付ス
 (海軍砲術學校)

(聯合艦隊)

海軍公報(部内限)第三千九百九十二號

昭和十四年四月二十六日

四五七

○艦船所在

▲印ハハホ
指定ヲ要セズ

○四月二十六日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威、鈴谷、五十鈴、陸奥、
嚴島、多摩、利根、▽八雲、▽沖島、駒橋、
木曾、山城

島風▲灘風▲

▽曉、狹霧、漣▲、▽夏雲、
峯雲、朝雲▲、山雲▲、沙風▲、▽電▲、雷▲

伊六▲

富士▲膠州、洲埼▲、鳴戸

(飛龍)▲(高崎)▲

【長浦】

▽沼風、帆風、響

呂五四、呂五五、呂五六、伊一二三、
伊一二四

野風▲

(掃一二)▲

【石川島】

北上▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一一)▲

澤風▲

夕張

【大湊】

葵▲、▽秋風、羽風、太刀風、夕風

吳竹▲、▽菊▲

【函館】

矢矧、淀、淺間、比叡▲、古鷹▲、神通▲、
日向、鳳翔、最上、加古、▽白鷹

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、
▽芙蓉▲、刈萱▲、朝顔▲、菘、矢風

【吳】

【大阪】

天龍▲

(伊一五)▲(伊一六)▲

卯月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

呂五九▲、伊六八▲、▽伊五七、伊五六▲、
伊五八▲

(初風)▲(伊二二)▲(伊二〇)▲

神風▲、波風▲

早鞆▲

【相生】

呂六二▲

(因ノ島)▽旗風▲、春風▲、皐月▲

【廣】

石廊

【江田内】

平戸▲

【安下庄】

大井

伊六二、伊六四、▽伊一、伊二、伊三

攝津

【佐伯】

吾妻▲、愛宕▲、迅鯨▲

敷波▲、磯波▲、白雲

(陽炎)▲(親潮)▲

那智▲、常磐、青葉▲、衣笠、加賀▲、能登呂、
足柄、龍田、千歳▲、榛名、磐手、▽八重山、

【佐世保】

海軍公報(部内限) 第三千九百九十二號

昭和十四年四月二十六日

四五九

朝日、野島、大泊、知床

【航海中】

尻矢 (十三日「ヒロ」發—横須賀へ)

襟裳 (二十二日羅府發—「ホノルル」へ)

伊五二 (二十四日舞鶴發—大湊へ)

長門、伊勢、扶桑、霧島、金剛、阿武隈、山良、

鬼怒、川内、大鯨、千代田、赤城、鳥海、

摩耶、熊野、三隈、那珂、劍埼、蒼龍、

村雨、夕立、春雨、五月雨、若葉、子日、初霜、

江風、涼風、山風、海風、追風、疾風、隴、

略、潮、天霧、朝霧、夕霧、初雪、白雪、吹雪、

東雲、叢雲、沖風、峯風、伊五、伊四、伊五五、

伊五三、伊五四、伊五九、伊六〇、伊七、伊七五、

伊七四、伊七三、伊七一、伊七二、伊三四、

呂三三、伊八 (二十五日有明灣發—宿毛へ)

龍驤、薄雲 (二十五日細島發—宿毛へ)

長鯨 (二十五日館山發—宿毛へ)

問宮 (二十六日宿毛發—吳へ)

【長崎】

羽黒 (筑摩) 隱戸

敷島 (鶴見、佐多)

(明石) (雪風) (伊一八)

伊六五 伊真鶴、千鳥、友鶴、初雁

呂六一、呂六四、呂六六、呂六七、

呂六五、呂六三、呂六八、伊六九

伊六五 伊真鶴、千鳥、友鶴、初雁

呂六一、呂六四、呂六六、呂六七、

呂六五、呂六三、呂六八、伊六九

伊六五 伊真鶴、千鳥、友鶴、初雁

呂六一、呂六四、呂六六、呂六七、

呂六五、呂六三、呂六八、伊六九

【鎮海】浦波、綾波

【作業地】出雲、安宅、鳥羽、勢多、摩田、比良、

保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、

名取、長良、嵯峨、勝力

栗、梅、選、夕風、朝風、松風、朝風、

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

伊六三、呂五八、呂五七

0527

(限 内 部)

海軍公報

(部内限) 第三千九百九十三號

海軍大臣官房

昭和十四年四月二十七日(木)

○通牒

官房機密第二五四三號

昭和十四年四月二十七日

海軍次官

各所屬長官殿

工員就業時間制限ニ關スル件申進

昭和十四年勅令第二百二十七號工場就業時間制限令ノ定ムル十六歳以上ノ男工員ノ就業時間ヲ一日十二時間以内トシ且毎月少クトモ二回公休日ニ於テ休業セシムル原則ハ本令發布ノ趣旨ニ鑑ミ作業上特ニ支障ヲ來サザル限リ海軍工員ヲ使僱スル應ニ於テモ之ヲ遵守セシムベキ義ト御承知相成度

○辭令

海軍少佐 浮田 信家

東京軍法會議判士ヲ命ス(四十六期)海軍省

○雜款

○將旗復歸

第二根據地隊司令官ハ四月二十四日將旗ヲ第三防備隊ヨリ嵯峨ニ復歸セリ

○司令驅逐艦一時變更

第二十五驅逐隊司令ハ四月二十四日司令驅逐艦ヲ一時大潮ヨリ朝潮ニ變更セリ

○事務所撤去

白神艦裝具事務所ヲ四月二十五日撤去セリ

○學生入校期日

近ク任命豫定ノ本校高等科學生ハ六月二日午前八時三十分始業式ニ就キ其ノ前日迄ニ入校セシメラレ度
(海軍軍醫學校)

○練習生採用試験問題

第四十九期操縱練習生採用試験問題

右四月二十日左記ノ通發送濟、未着又ハ必要ノ向ハ至急御通知相成度

海軍公報(部内限) 第三千九百九十三號 昭和十四年四月二十七日

四六一

記

- 一、單獨試験施行豫定ノ各部へ直送
- 二、聯合試験用ノモノハ各海軍人事部長、各要港部副官(舞鶴要港部ハ舞鶴防備隊司令)宛送付
- 三、聯合試験參加豫定ノ艦船ニシテ行動豫定變更ノ爲聯合試験參加不能ノ向ニ對スル分トシテ前記諸官宛單獨試験用トシテ若干部送付シ置ケリ
(第十一聯合航空隊)

○訂正

昨二十六日辭令欄中平野烈介ノ辭令月日「四月二十二日」ヲ「二月二十二日」ニ訂正ス

○正誤

四月二十二日令達欄官房第二一四八號二行目工作科豫備補習生ノ下「タル工員」ヲ脱ス

昨二十六日雜款欄交通艦派出豫定表中二號「山 徳」ハ「徳 山」ノ誤、同表末尾ニ「(聯合艦隊)」ヲ脱ス



○艦船所在

▲印ハニハホフ
指定ヲ要セズ

○四月二十七日午前十時調

【横須賀】

春日▲高雄▲神威▲鈴谷▲五十鈴▲陸奥、
嚴島▲多摩▲利根、▷八雲▲駒橋▲木曾
島風▲灘風▲▽曉▲狹霧▲漣▲▽夏雲、
峯雲▲朝雲▲山雲▲汐風

伊六▲

富士▲膠州▲洲崎▲鳴戸

(飛龍)▲(高崎)▲

【長浦】

▽沼風

呂五四、呂五五、呂五六、伊一二三、

伊一二四

【石川島】

野風

(掃一二)▲

【浦賀】

北上

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一一)▲

【館山】

澤風

【大湊】

夕張

葵▲▽秋風、羽風、太刀風、夕風

伊五二

【函館】

吳竹▲▽菊▲

矢矧、淀、淺間、比叡▲古鷹▲神通▲

【吳】

日向、鳳翔、最上、加古、▷白鷹、大井

夕顔、若竹、早苗、薄、藤、蔦、萩、

▽芙蓉▲、刈萱▲、朝顔▲、矢風

【大阪】

天龍

卯月

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

【神戸】

呂五九▲伊六八▲▽伊五七、伊五六▲

伊五八

(初風)▲(伊二二)▲(伊二〇)▲

【相生】

神風

早鞆

【玉】

呂六二

【因島】

▽旗風▲春風▲皐月▲

【宿毛】

▽長門、伊勢、扶桑、▷霧島、金剛、▷阿武隈、

由良、鬼怒、▷川内、▷大鯨、千代田、

赤城、▽鳥海、摩耶、▷熊野、三隈、▷那珂、

▷劍埼、▷蒼龍、龍驤

▷村雨、夕立、春雨、五月雨、▽若葉、子日、

初霜、▽江風、涼風、山風、海風、▽追風、

疾風、▽朧、略、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、

▽初雪、白雪、吹雪、▽東雲、叢雲、薄雲、

沖風、峯風

▽伊五、伊四、▽伊五五、伊五三、伊五四、

海軍公報(部内限)第三千九百九十三號

昭和十四年四月二十七日

四六三

【江田内】平戸▲
 【別府】伊六二、伊六四、伊六一、伊二、伊三
 【舞鶴】吾妻▲、愛宕▲、迅鯨▲
 敷波▲、磯波▲、白雲▲
 (陽炎)▲、(親潮)▲
 那智▲、常磐▲、青葉▲、衣笠▲、加賀▲、能登呂、
 足柄、龍田、千歳▲、榛名▲、磐手▲、八重山、
 梨、竹、樞、桃、柳、檜、董、蓼、蓬、菱▲
 戸葦▲、柿▲、楡▲、戸水無月、文月、長月、
 戸大潮▲、朝潮▲、滿潮▲、荒潮▲、戸彌生、如月、
 夕月、戸三日月、菊月、睦月▲、望月、初春▲
 呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇▲、
 呂六一▲、呂六四▲、戸呂六六、呂六七、
 呂六五▲、戸呂六三、呂六八、戸伊六九▲、
 戸伊六五
 戸真鶴、千鳥、友鶴▲、初雁▲
 戸掃一〇、掃八、掃九
 敷島▲、鶴見、佐多
 (明石)▲、(雪風)▲、(伊一八)▲
 (筑摩)▲

【長崎】

【鎮海】戸浦波、綾波
 【作業地】戸出雲、安宅、鳥羽、勢多、壺田、比良、
 保津、熱海、二見、戸瑞穂、球磨、戸妙高、
 名取、戸長良、戸嵯峨、勝力
 栗、梅、蓮、戸夕風、朝風、戸松風、朝風、
 戸有明、夕暮、時雨、白露
 伊六三、
 戸隼、鴨、鶴、鴻、鳩、雉、鷺
 戸掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、
 戸掃一六、掃二三、掃一四、掃一五、
 戸掃一七、掃一八、掃七、
 朝日、野島、大泊、知床

【航海中】

尻矢 (十三日「ヒロ」發—横須賀へ)
 襟裳 (二十二日羅府發—「ホルル」へ)
 長鯨 (二十五日館山發—宿毛へ)
 戸沖島、山城 (二十六日横須賀發—相模灘へ)
 戸電、雷、響、帆風、戸呂五八、呂五七 (二十六日
 長浦發—相模灘へ)
 掖 (二十六日吳發—廣島灣へ)
 室戸 (二十六日吳發—長崎へ)

(限 内 部)

0531

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十四年四月二十七日(木)

○ 令 達

官房第二二七二號

左記ニ依リ海軍砲術學校ニ於テ海軍武道大會ヲ施行ス

左記第三、第四號ノ人員ヲ派遣スベシ

追テ所屬長官ハ派遣員ノ所轄、官氏名及選士ノ技倆ヲ五月十日迄ニ報告スルト共ニ海軍砲術學校長ニ通報スベシ

昭和十四年四月二十六日

海 軍 大 臣

記

一、目 的

武道ヲ獎勵振作シ士氣ヲ振興スルニ在リ

二、期 日

昭和十四年六月五日

海軍公報 (部内限) 號外

三、委員

海軍砲術學校長ヲ委員長トシ委員、同附派出區分左ノ通定ム

四、選士	機關學校	兵學校	鎮海要港部	大湊要港部	舞鶴要港部	佐世保鎮守府	吳鎮守府	横須賀鎮守府	第二艦隊	第一艦隊	派遣元	記
											一般委員	
		(一)				(五)	(三)	(六)	三	一	一	(イ) 委員及委員附ハ艦隊司令長官、鎮守府司令長官、要港部司令官、海軍兵學校長、海軍機關學校長ノ定ムル所ニ依ル
		(一)										(ハ) 内員數ハ武道教師ヲ以テ之ニ充ツルモノトス
												(ニ) 一般委員及審判委員ハ選士ヲ兼ヌルコトヲ得
												(ロ) 委員長ハ上記ノ外所要ノ委員委員附ヲ横須賀鎮守府司令長官ニ請求スルコトヲ得

	劍		道		柔		道		銃劍術		記 事
	士官	特准	下士官兵	士官	特准	下士官兵	准士官以上	下士官兵			
第一艦隊	四	二	五	四	二	五	四	一	二	吳鎮守府(舞鶴要港部) (橫須賀鎮守府) 派出 員數中ニハ兵學校(機 關學校)(經理學校)ノ 員數ヲ含ムモノトス	
第二艦隊	四	二	五	四	二	五	四	一			
橫須賀鎮守府	四	一	八	四	一	八	五	一			
吳鎮守府	三	一	五	三	一	五	五	一			
佐世保鎮守府	三	一	五	三	一	五	五	一			
舞鶴要港部			二			二	一	二			
大湊要港部			一			一		二			
鎮海要港部			一			一		二			

五、實施要領

委員長ノ定ムル所ニ依ル

五月二十五日迄ニ實施要領ヲ定メ其ノ十五通ヲ提出スルト共ニ關係各部ニ送付スルモノトス

六、經 費

(一) 橫須賀以外ノ地ヨリ派遣ノ委員、委員附及選士ニ對スル旅費ハ大會前日橫須賀着大會終了當日橫須賀

0534

海軍公報 (部内限) 號外

(二) 出發トシ昭和五年官房第二三八七號別表第三ニ依リ支給ノコトトシ請求ヲ俟テ別途配付ス
右以外ノ所要經費ハ砲術學校長ニ別途配付ス

四

海軍公報

(部内限) 第三千九十四號

海軍大臣官房

昭和十四年四月二十八日(金)

○通牒

官房機密第二五六三號

昭和十四年四月二十八日

海軍次官

各廳長殿

物資ノ節約ニ關スル件申進

首題ニ關シテハ昭和十三年官房機密第七三〇號ヲ以テ各鎮守府司令長官及各要港部司令官宛申進致置候處時局ノ進展ニ伴ヒ各種需要益増加セルニ反シ第三國ヨリノ物資輸入ニ關シテハ輸出貿易ノ飛躍的發展ナキ限リ今後俄ニ増進ヲ期待シ得ザルノミナラズ現下頗ル緊迫セル國際情勢下ニ在リテハ假令輸入力好轉スルモ物資ノ獲得至難ナル事態ヲ招來シツツアリ、又一方近ク決定ヲ見ルベキ昭和十四年度物資動員計畫ニ於テハ輸入ニヨル物資ノ需要額ハ極度ノ制限ヲ必要トスルノ結果軍需ニ於テモ相當程度ノ節減ヲ豫期セザルベカラザル狀況ニ有之候

右ノ情況ニ鑑ミ政府ニ於テハ生産、配給、消費等各般ニ亘リ愈統制ヲ強化シ長期戰遂行目的達成ニ必須タル軍需資材ノ供給確保ニ萬全ノ措置ヲ講ジツツアル次第ナルニ付此ノ際部下一般ヲシテ克ク如上ノ事情ヲ知悉セシメ極力代用、節約等ニ依ル物資ノ節減ヲ圖ル外發明考案等ヲ獎勵シ國産品ニ依ル代用、遺利ノ回收等ノ徹底化ヲ圖リ軍民一體時艱克服ノ實ヲ擧ゲ刻下喫緊ノ軍備資材ノ整備ニ遺憾ナキ様特ニ配慮相成度

艦本機密第八〇一七號

昭和十四年四月二十一日

海軍艦政本部長

横須賀

吳 海軍工廠長 殿

佐世保 海軍軍需部長 殿

二號無線電話機送話機改三改造ノ件通牒
首題ノ件左記ニ依リ施行スベシ

記

一、改造目的

海軍公報(部内限) 第三千九十四號

昭和十四年四月二十八日

四六五

首題兵器ニ自勵式原振器一箇ヲ増設シ幅射電波安定度ヲ向上セシムルニアリ

次項記載ノ首題兵器ヲ四月十日艦本機密第七〇六〇號及艦本第六〇八九號送付ノ二號無線電話送話機改三改造圖書ニ依リ二號無線電話機一型ニ改造ス

一、改造兵器

改造施行廠	改造員數	在 庫	先	記 事
横須賀工廠	二七組	横須賀軍需部		十四年四月二十一日官房機密第二二四〇號「軍艦、驅逐艦、二號無線電話機換裝ノ件訓令」ニ依リ在庫トナルモノ
吳 工 廠	一五組	吳 軍需部		
佐世保工廠	一九組	佐世保軍需部		

計 六一組

一、時 期

昭和十四年十二月三十一日迄ニ時機ヲ得次第速ニ完了スルモノトス

一、報 告

二ヶ月毎ニ改造工事ノ進捗狀況(機體製造番號、在庫先等ヲ記載セルモノ)ヲ報告スルモノトス

一、費 目

軍事費、造船造兵及修理費、造兵費、修理(線)別途配付豫算内支辨トス

○ 辭 令

武田 正次
海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス(四十七日海軍省)

(各通)

海軍特務少尉 中田 光重
海軍機關特務少尉 井上 大作

海軍省事務ヲ囑託シ報酬年額千參百貳拾圓ヲ給ス(三十七日同)

海軍技手 森 剛
補給部附ヲ命ス(三十四日海軍航空本部)

海軍造兵少佐 近藤 俊雄
技術部第二課勤務ヲ命ス(二十六日同)

海軍中佐 三浦 速雄 (艦 本)
 海軍少佐 古谷 義二郎 (六驅潜)
 海軍機關大佐 北野 綱雄 (艦本監)
 海軍機關中佐 松木 正彦 (艦 本)
 海軍技師 小谷 尙造 (艦本監)
 同 梅谷 重三郎 (同)
 第六號驅潜艇審議委員ヲ命ス (海軍艦政本部)

○ 雜 款

○特設運送船朝光丸行動豫定
 地名 着 發
 横須賀 五月三日 五月六日
 函館 五月八日 五月九日
 大湊 五月十四日 五月十七日
 横須賀 五月十九日 五月二十一日
 吳保 五月二十二日 五月二十四日
 佐世保 五月二十五日 五月二十七日
 西戶崎 五月二十八日 五月三十一日
 吳賀 六月二日 六月五日
 横須賀 六月七日 六月九日
 父島 六月十四日 六月二十四日
 帕ヲオ 六月十四日 六月二十四日
 横須賀 七月一日 七月一日

○郵便物發送先
 第一航空戰隊司令部、軍艦赤城、第二十九驅逐隊宛
 五月十四日迄ニ到達見込ノモノハ 宿 毛
 其ノ後ハ 所屬軍港

特設運送船朝光丸宛
 五月五日迄ニ到達見込ノモノハ
 同 十一日迄ニ同
 同 十六日迄ニ同
 同 二十日迄ニ同
 同 二十三日迄ニ同
 同 二十六日迄ニ同
 同 三十日迄ニ同
 其ノ後ハ
 横須賀 大湊 横須賀 吳世保 西戶崎 吳賀 留置

特設運送船金龍丸宛
 五月八日迄ニ到達見込ノモノハ
 同 十二日迄ニ同
 同 十六日迄ニ同
 同 二十日迄ニ同
 同 二十八日迄ニ同
 其ノ後ハ
 吳賀 横須賀 吳世保 吳賀

○事務所設置
 名古屋地方海軍人事部開設準備事務所ヲ名古屋市熱田區森後町一丁目名古屋海軍監督官事務所内ニ設置シ四

海軍公報 (部内限) 第三千九百九十四號 昭和十四年四月二十八日 四六七

月十八日ヨリ事務ヲ開始セリ

○事務所開設

第二海軍燃料廠(假稱)設立準備事務所ヲ四月十五日ヨリ當分ノ間徳山海軍燃料廠製油部内ニ開設セリ

○獨逸飛行機ノ本邦飛來豫定中左ノ通一部變更ス
指定航空路及着陸場中「立川」ヲ「東京飛行場」ニ

(三月十一日海軍公報(部内限)本欄参照)

○海軍練習航空隊選修學生學術試驗施行期日

試驗科目	試驗施行期日	時	限	記	事
算術	五月二十九日(月)	午前二時	至九時	〇〇〇〇	〇〇〇〇
代數	五月三十日(火)	午前二時	至五時	〇〇〇〇	〇〇〇〇
國語、漢文	五月三十日(火)	午後一時	至四時	〇〇〇〇	〇〇〇〇
作文	五月三十一日(水)	午前二時	至九時	〇〇〇〇	〇〇〇〇
術科	五月三十一日(水)	午前二時	至九時	〇〇〇〇	〇〇〇〇

(横須賀海軍航空隊)

○練習生採用試験問題發送
第六十八期高等科水雷術魚雷練習生採用試験問題
右四月二十日左記ノ通發送濟
記

一、聯合試驗參加不可能ト認メラルル向ニハ直接、其ノ他ハ各海軍人事部長及各要港部參謀(舞鶴及馬公ハ各防備隊司令)宛送付セリ
二、行動其ノ他ノ都合ニ依リ臨時必要ノ分トシテ若干部數前記各官宛送付シアリ
未着ニシテ所要ノ向ハ前項各官ヨリ受領若ハ本校ニ請求セラレ度
(海軍水雷學校)

○取消(並普通公報)
一月十三日公報辭令欄大西和吉ニ對スル賜金辭令及二月十七日公報同欄徳永厚吉ニ對スル賜金辭令ハ就モ取消サレタリ(四月二十八日海軍省副官)

0539

○自四月二十八日宿毛在泊中交通艦派出豫定變更
至五月十一日

番號	一	二	三	四	五
出發地	宿毛	德山	宿毛	佐伯	宿毛
月日	四一三七	四一七八	四一三九	五一五	五一七
時刻	〇九〇〇	〇九〇〇	一三〇〇	一五〇〇	〇八〇〇
到着地	佐伯	德山	佐伯	佐伯	德山
月日	四一三七	四一七八	四一三九	五一五	五一七
時刻	一一〇〇	一六〇〇	一六〇〇	一八〇〇	一一〇〇
交通艦	千代田	$\frac{d \times 1}{1 S d}$	千代田	千代田	$\frac{d \times 1}{2 S d}$
記	戰技委員(附)及視察見學者用	侍從武官用 右同	戰技委員(附)視察見學者用	右同	侍從武官及戰技委員(附)視察見學者用

(聯 合 艦 隊)

海軍公報(部内限)第三千九百九十四號

昭和十四年四月二十八日

四六九

○艦船所在

指印ハ「ハホ」
定ヲ要セズ

○四月二十八日午前十時調

【横須賀】

春日▲、高雄▲、神威、鈴谷、五十鈴、陸奥、
巖島、多摩、利根、▽八雲、駒橋▲、木曾
島風▲、灘風▲、▽曉、狹霧、漣▲、▽夏雲、
峯雲、朝雲▲、山雲▲、沙風

伊六▲

富士▲、膠州、洲埼▲、鳴戸

(飛龍)、(高崎)▲

【長浦】

呂五四、呂五五、呂五六、伊一二三、
伊一二四

【石川島】

野風▲

(掃一二)▲

【浦賀】

北上▲

(霞)▲(不知火)▲(早潮)▲(掃一一)▲

【館山】

澤風▲

【大湊】

葵▲、▽秋風、羽風、太刀風、夕風

【函館】

伊五二

【室蘭】

吳竹▲、▽菊▲

【吳】

夕張
矢矧、淀、淺間、比叡▲、古鷹▲、神通▲、
日向、鳳翔、最上、加古、▽白鷹、大井
夕顔、若竹、早苗、薄、藤、葛、萩、
▽芙蓉▲、刈萱▲、朝顔▲、矢風、靛

【大阪】

伊一五▲(伊一六)▲

天龍▲

卯月▲

(伏見)▲(黒潮)▲(夏潮)▲

呂五九、伊六八▲、▽伊五七、伊五六▲、
伊五八

【神戸】

(初風)▲(伊二二)▲(伊二〇)▲

神風▲、波風▲

早鞆▲

(初鷹)▲

呂六二▲

▽旗風▲、春風▲、卓月▲

【相生】

平戸▲

千代田

▽長門、伊勢、扶桑、▽霧島、金剛、▽阿武隈、
由良、鬼怒、▽川内、▽大鯨、▽赤城、
▽島海、摩耶、▽熊野、三隈、▽那珂、▽劍埼、
▽蒼龍、龍驤

▽村雨、夕立、春雨、五月雨、▽若葉、子日、
初霜、▽江風、涼風、山風、海風、▽追風、
疾風、▽臘、曙、潮、▽天霧、朝霧、夕霧、
▽初雪、白雪、吹雪、▽東雲、叢雲、薄雲、

宿毛

因ノ島

江田内

徳山

玉

宿毛

宿毛

宿毛

宿毛

宿毛

宿毛

宿毛

宿毛

海軍公報(部内限)第三千九百九十四號

昭和十四年四月二十八日

四七一

沖風、峯風

伊伊五、伊四、伊伊五五、伊五三、伊五四、伊伊五九、伊六〇、伊七、伊伊七五、伊七四、伊伊七三、伊七一、伊七二、伊伊三四、伊三三、伊八攝津、隱戸

【別府】伊六二、伊六四、伊伊一、伊二、伊三
【舞鶴】吾妻、愛宕、退鯨
敷波、磯波

【佐世保】那智、常磐、青葉、衣笠、加賀、能登呂、足柄、龍田、千歳、榛名、磐手

梨、竹、榎、桃、柳、檜、蕁、蓼、蓬、菱、
草、柿、楡、水無月、文月、長月、
朝潮、大潮、満潮、荒潮、彌生、如月、
夕月、三日月、菊月、陸月、望月、初春、
呂三〇、呂三一、呂三二、呂六〇、
呂六一、呂六四、呂六五、伊伊六九、
伊伊六五
伊真鶴、千鳥、友鶴、初雁、
掃八

【長崎】敷島、鶴見、佐多
(明石)、(雪風)、(伊一八)、
羽黒、室戸

【作業地】(筑摩) 出雲、安宅、鳥羽、勢多、堅田、比良、保津、熱海、二見、瑞穂、球磨、妙高、名取、長良、嵯峨、勝力、栗、榎、蓮、夕風、朝風、松風、朝風、伊有明、夕暮、時雨、白露、伊六三、伊隼、鴨、鵠、鴻、鳩、雉、鷲

伊掃五、掃一、掃二、掃三、掃四、掃六、掃一六、掃二三、掃一四、掃一五、掃一七、掃一八、掃七、朝日、野島、大泊、知床

【航海中】

尻矢 (十三日) ヒロ「發」横須賀(へ)
襟裳 (二十二日) 羅府發「ホノルル」(へ)
長鯨 (二十五日) 館山發「宿毛」(へ)
沖島、山城 (二十六日) 横須賀發「相模灘」(へ)
電、雷、響、帆風、呂五八、呂五七 (二十六日) 長浦發「相模灘」(へ)
八重山、掃一〇、掃九 (二十七日) 佐世保發「長崎」(へ)
浦波、綾波 (二十七日) 鎮海發「港外」(へ)
白雲 (二十七日) 舞鶴發「港外」(へ)
呂六三、呂六八、呂六六、呂六七 (二十七日) 佐世保發「港外」(へ)

(限 内 部)

0542

海軍公報 (部内限) 號外

海軍大臣官房

昭和十四年四月二十八日(金)

○ 通 牒

人秘第四號ノ八

昭和十四年四月二十七日

海軍省 人事局長

關係各廳長殿

事變地以外ニ於ケル部外者及部外團體ノ功績竝ニ部外關係部内者ノ功績調査ニ關スル件申進
首題ニ關シ左記ノ通定メラレ候條可然御取計相成度

記

一、功績調査ノ範圍

左ノ各號ニ關シ功績アルモノニ付其ノ顯著ナルモノヲ簡拔ス

- (一) 召集、募集、徵傭、調達ニ關スル業務
- (二) 運輸、土木建築、宿營、給養ニ關スル業務
- (三) 防空、防衛、防牒ニ關スル業務

海軍公報 (部内限) 號外

- (四) 輿論善導、國防思想普及並ニ宣傳ニ關スル業務
 (五) 軍人軍屬及其ノ遺家族等ノ後援慰恤
 (六) 戦死、戦病死者等ノ弔慰並ニ戦傷病者ノ取扱、幫助慰問
 (七) 其ノ他前各號ニ準ズルモノ

二、調査具申區分

- (一) 團體具申ヲ主トシ個人具申ハ特別ノ功績アル者ニ限ルモノトス
 (二) 團體具申ノ單位ハ團體ノ組織等ニ依リ一定シ難キモ帝國在郷軍人會ニ在リテハ同分會トスル等適宜定ムルモノトス
 (三) 團體具申ヲ爲シタルモノニ在リテモ尙該團體中特別ノ功績アル者ニ對シテハ別ニ個人具申ヲ爲スコトヲ得

三、調査及具申要領

- (一) 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニシテ海軍ニ於テ特ニ認ムベキ功績アル者ニ對シテハ關係廳長之ヲ調査シ功績認定書(様式第一)ヲ調製シ最終功績調査ノ際本人ノ身分隸屬區分(内閣直屬又ハ他省系統ノ官公署)ニ從ヒ當該關係長ニ送付スルト共ニ功績認定書送付者名簿(様式第二)ヲ作り海軍省人事局長ニ通知スルモノトス

- (イ) 内閣直屬又ハ他省系統ノ官公署(以下他省等ノ系統ト稱ス)ニ屬スル職員ニシテ海軍ノ事變勤務ニ従事シ又ハ其ノ業務ヲ援助シタル者
- (例) 警察官、市區町村吏員等ノ如ク海軍ノ軍屬タラザルモ固有ノ職務ヲ行フ傍ラ海軍ノ事變關係業務ニ關與スルカ若ハコレヲ援助セル者
- (ロ) 他省等ノ系統ニ屬スル職員ニシテ海軍ノ職員ヲ兼任シ又ハ業務ヲ委嘱セラレタル者
- (例) 陸軍軍人ニシテ海軍ノ參謀、教官、司令部附等ヲ兼ヌル者及帝國大學教授、遞信事務官、關東局事務官、臺灣總督府測候所技師等ニシテ海軍ノ囑託ト爲ル等固有ノ職掌以外ニ海軍ノ職務ヲ擔當シタル者
- (二) 前項ニ該當スル者ト雖モ海軍功績調査規程ニ依ル功績書類ハ一般軍人軍屬ニ準ジ之ヲ調製シ最終功績調査ノ際順序ヲ經テ海軍大臣ニ進達スルモノトス此ノ場合功績明細書ノ上方欄外ニ功績認定書ヲ部外ニ送付セル旨記載シ功績具申名簿ハ昭和十四年海人第二八號(二月二日附海軍公報部内限)ニ依ル調製區分トハ更ニ別紙ト爲スモノトス
- (三) 他省等ノ系統ニ屬セザル部外者及部外團體ニ對シテハ夫々功績ヲ認メタル海軍各關係廳ニ於テ之ヲ調査シ最終功績調査ノ際順序ヲ經テ海軍大臣ニ具申スルモノトス
- (四) (一)及(三)項ニ該當スルモノニシテ海軍ノ各廳間海軍ノ應ト他省等ノ系統ニ屬スル廳間相互ニ關係シ夫々

功績アルモノニ對シテハ功績具申應ニ於テ之等ノ關係ヲ調査シ其ノ判明セルモノハ關係應名ヲ功績明細書ニ附記シ又海軍各廳間ナルトキハ爲シ得レバ主要關係應ニ於テ一括功績具申ヲ爲スモノトス

(五) 部外團體ノ功績明細書ニ添附スル履歷書ニハ當該團體ノ目的、事業、創立年月日、所在地及長ノ氏名ヲ記載スルモノトス

(六) 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シ他省等ノ系統ヨリ功績書類(功績調書、功績現認書等)ノ送付ヲ受ケタル廳長ハ之ヲ海軍ニ於ケル功績書類ト共ニ功績調査期ニ從ヒ順序ヲ經テ海軍大臣ニ進達スルモノトス

(イ) 部内者ニシテ他省等ノ系統ニ關スル事變動務ニ從事シ又ハ其ノ業務ヲ援助シタル者

(ロ) 部内者ニシテ他省等ノ系統ノ職員ヲ兼任シ又ハ業務ヲ委囑セラレタル者

(ハ) 或期間海軍軍人軍屬トシテ勤務シタル其ノ前後ニ於テ他省等ノ系統ニ屬スル職員タリシ者

(七) 前號該當者ニシテ海軍ニ於テハ認ムベキ功績ナキ者ナルトキ又ハ海軍ニ於ケル功績ノ既ニ具申濟ノ者ナルトキハ他省關係功績具申名簿(様式第三)ヲ調製シ之ニ當該省等ノ功績書類ヲ添へ順序ヲ經テ海軍大臣ニ進達スルモノトス

(様式第一)

功績認定書

本籍地

(入籍番號)

官(職)位勳功符 何

(生年月日)

某

右者 自昭和 年 月 日 期間海軍ニ於ケル事變關係業務ニ從事(關與、協力、援助...等)シ其ノ功績ニ該當スル

モノト認ム

昭和 年 月 日

應 長 官 氏 名 團

備考

下士官兵ニ在リテハ入籍番號ヲ附記スルコト

(様式第二)

昭和 年 月 日

應 長 團

海軍省人事局長宛

功績認定書送付者名簿

海軍公報(部内限)號外

備考

- 一、省別欄ニハ内閣直屬局名又ハ省別區分ヲ記載スルコト
- 二、服務又ハ關係應名及期間欄ニハ海軍ニ於ケル服務應名又ハ海軍ニ於テ功績ヲ認メタル他省等ノ系統ニ屬スル應名及其ノ期間ヲ記載スルコト
- 三、入籍番號欄ニハ下士官、兵ニ在リテハ入籍番號ヲ、其ノ他ノ者ニ在リテハ本籍地及生年月日ヲ記載スルコト

(様式第三)

昭和 年 月 日

應

長 團

海軍大臣宛

他省關係功績具申名簿 ()

省別	送付先應名	功績等級	服務又ハ關係應名及期間	他省關係官職	海軍官職	氏名	入籍番號 (本籍地及生年月日)

功績等級	官職	記	事	入籍番號 (部、工場名)	官職	氏	名	記	事	他省關係	
										海軍	關係
備考											
<p>一、本名簿ハ海軍ニ於ケル功績具申名簿ノ調製區分毎ニ別紙ニ調製シ標題ノ下括弧内ノ記載ニ依リ其ノ區分ヲ判別シ得ル如ク爲スコト 例ヘバ(傭人)ノ如シ</p> <p>二、他省關係ニ勤務後轉籍又ハ改氏名者ハ他省關係應ニ勤務シタルトキノ本籍氏名ヲ當該記事欄ニ記載スルコト</p> <p>三、本名簿ニ登載者ハ無功績者名簿ト重複スルコトアリ</p> <p>四、海軍ニ於ケル功績ヲ既ニ具申濟ノ者ニ對シテハ其ノ具申回數及功績具申名簿ノ件名番號ヲ海軍關係記事欄ニ附記ノコト</p> <p>五、入籍番號 欄ニハ下士官兵ニ在リテハ入籍番號ヲ、工員ニ在リテハ部名及工場名ヲ記載スルコト (部、工場名)</p> <p>六、他省等ノ系統ヨリ送付ヲ受ケタル功績書類ハ本名簿ニ記載セル順序ニ編綴添附スルコト</p>											

海軍公報 (部内限) 號外